

# 地震を感じたら

保存版

大きな揺れがあったときどうすればいいのか、ご家族で確認し、もしものときにはご自分とご家族の安全を守ることができるよう備えましょう。

## ① ゆれている間は、身を守る。

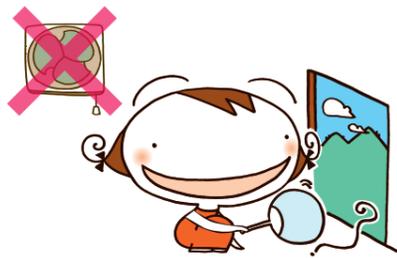
大きな地震の場合、揺れが数分間続くことがあります。テーブルの下に入るなどして頭を守りましょう。あわてて外に飛び出すと危険です。



## ② ゆれがおさまったら、火の始末。

ガス器具の火を消し、元栓をしめましょう。ゆれている間に無理をすると、やけどの危険があります。

- ◆ ガス臭いときや、ガス漏れ警報器が鳴ったときは、ドアを開けて十分に換気をしてください。
- ◆ LPガスは、空気より重いので床の方に溜まります。うちわ・新聞紙・ほうきなどでガスを追い出してください。
- ◆ このとき、換気扇・コンセント・スイッチには触れないでください。火花を飛ばす可能性があります。



## ③ ドアを開けて、出口を確保。

ドアが開かなくなって室内にとじこめられないように、ドアを開けて出口を確保しましょう。ものを踏んでケガをしないように、スリッパなどをはいておきましょう。

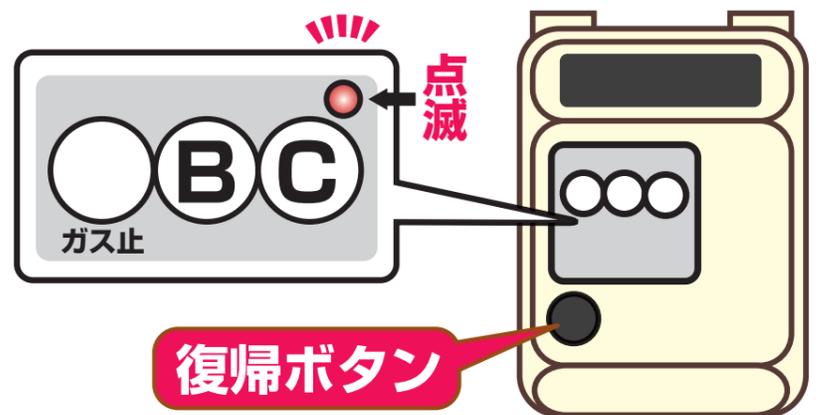


## ④ 避難するときはブレーカーをおとす。

停電している場合、電気が復旧したときに電気ストーブなどが火災の原因になることがあります。避難で家をあけるときは、電気のブレーカーをおろし、できればコンセントも抜いておきましょう。



震度5相当以上のゆれを感知すると、ガスメーターが安全のためガスを止めます。



## 再度ガスを使うには

以下の手順に従って操作してください。

- 1 まず、ガス臭くないこと、ガス栓・器具栓がすべてしまっていることを確認します。
- 2 屋外のガスメーターの「復帰ボタン」を押し、赤いランプが点灯したら、すぐに手を離してください。
- 3 液晶表示の「ガス止」が消え、赤いランプが点滅します。
- 4 1分後、ガスメーターが安全を確認すると、赤いランプの点滅が消え、再びガスが使えるようになります。

万一、配管やガス器具からガス漏れがあった場合は、ガスメーターが再びガスを止めます。このような場合や、ガスの臭いがする場合は、江藤産業へすぐにご連絡ください。

★ 余震の可能性があるので、使っている火のそばから離れないようにしてください。

■ ガス機器のご相談・ご質問がありましたらお気軽に声をおかけください。いつもの営業所 または ☎ 0120-562-096 江藤産業フリーダイヤル



熊本県・大分県で発生したこの度の地震により被害を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

江藤産業株式会社 代表取締役 染矢安博